

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-136	20-014	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名（原題／訳） Associations of alcohol consumption and physical activity with lean type 2 diabetes mellitus among Korean adults: A prospective cohort study アルコール摂取および身体活動とやせ 2 型糖尿病の関係：韓国の前向きコホート研究		
執筆者 Baik I, Park SI.		
掲載誌 PLoS One. 2020 Sep 3;15(9):e0238641. doi: 0.1371/journal.pone.0238641. eCollection 2020.		
キーワード	PMID	
アルコール、2 型糖尿病、BMI、やせ	32881937	
要 旨 目的： アルコール摂取と 2 型糖尿病リスクとの関係性は報告されてきているが、やせた体型の 2 型糖尿病（やせ 2 型糖尿病）との関係は報告されていない。したがって本研究では、前方視的な 10 年間の縦断研究データを下に、アルコール摂取とやせ 2 型糖尿病との関係を調査した。 方法： 2001~2012 年のベースライン調査時に糖尿病の罹患歴がなく、BMI が 17~22.9kg/m ² であった 40-69 歳の韓国人の男女 2366 名を対象とした。アルコール摂取量、BMI、2 型糖尿病の情報は隔年インタビューおよび健診にて得た。アルコール摂取量は追跡期間中の平均摂取量を算出して分類し、追跡期間中に禁酒した者は禁酒群に分類した。アルコール摂取と 2 型糖尿病との関連はコックス比例ハザードモデルを用いて解析した。 結果： BMI と潜在的リスク因子の調整後においても、10 年以上 BMI が 23 未満であり、少なくとも 1 日のアルコール摂取が 16g 日以上（2 単位/日）である者は 2 型糖尿病のリスクが有意に高かった。アルコール摂取が無い場合と比べ、アルコール摂取量が 16-30g/日、31-60g/日、61g/日以上の場合のハザード比 [95%信頼区間] は各々 1.74 [1.02-2.95]、2.09 [1.16-3.77]、1.94 [1.07-3.51] であった。アルコール摂取 16g/日未満といった適度のアルコールが 2 型糖尿病リスクに予防的に作用することは無かった。年齢、糖尿病の家族歴、不活動性もまた、やせ 2 型糖尿病の有意なリスク因子であった。 結論： 少なくとも 2 単位/日のアルコール摂取はやせ 2 型糖尿病のリスクを増加した。アルコール摂取制限もしくは身体活動はやせ 2 型糖尿病の予防に作用すると思われた。		